

(一社)九州観光推進機構 活動レポート

— 2018年3月号 —

2月の主なトピックス

欧州市場（英国・フランス）における九州観光プロモーション事業	1P
九州・沖縄春の大観光展覧会	2P
九州アジア観光アイランド特区ガイドスキルアップ&マッチングセミナーの開催	5P

◆ 2月のトピックス

○欧州市場（英国・フランス）における九州観光プロモーション事業

（1/23-2/5：ロンドン、パリ）

欧州市場における九州の認知度向上と誘客促進を目的に、英国とフランスで、九州の伝統工芸品や物産、食材等の展示、体験を絡めた九州観光フェア及び九州観光説明会を実施しました（ロンドン会場：1月23日～28日、パリ会場：1月31日～2月5日）。

当機構主催での欧州市場に対するプロモーション事業は初めての試みでしたが、期間中はロンドン会場約500名、パリ会場約300名と多くのお客様が足を運んでくださり、直接九州の物産及び観光をPRすることができました。また、期間中各会場にて、旅行会社・メディアを対象にした企業向け九州観光説明会を実施し、プレゼンテーション及びミニ商談会を行いました（参加者数：ロンドン会場9社10名、パリ市場13社15名）。さらに、日本に関心のある個人旅行者を対象に、個人向け九州観光説明会も実施し、プレゼンテーション及び展示品を使ったワークショップ等を行いました（参加者数：ロンドン会場：41名、パリ会場：42名）。

今後とも、今回つながりができた旅行会社・メディアを始め、BtoC向けにも継続的に九州の物産及び観光の情報を発信することで、ラグビーワールドカップ2019に向けて九州の認知度向上と誘客促進に努めていきます。



○韓国におけるテーマ旅行（SIT）推進事業

（1/31-2/10：九州7県）

韓国人旅行者のニーズに合わせたテーマ旅行（アートな景色と出会う旅、時間旅行・食べ歩き旅、観光列車旅）を紹介し、それぞれの志向に合った動画の作成・発信を行い、旅行商品の造成促進や、広域観光周遊ルートの形成促進を図りました。

観光列車をテーマとした旅では、観光列車のコンセプトが伝わり、途中の駅で降りて地元の人とのふれあいができました。佐賀県古湯温泉の泊まれる図書館「暁」では、「今は日本の本だけの品揃えだが、将来的には写真集や絵本をキーワードに外国人観光客向けの場所を作りたい」という宿の構想を聞き、「完成したらぜひ行きたい」との評価を得られ、九州の新たなコンテンツの紹介もできました。



○九州・沖縄春の大観光展覧会

（2/2-4：広島）

公益社団法人日本観光振興協会及び九州7県・沖縄県、マスコミと連携し「九州・沖縄春の大観光展覧会」を実施しました。

イベント前日の2月2日（金）にはテレビ新広島を訪問、広島エリアで主婦層に絶大な人気があるテレビ番組「ひろしま満点ママ！！」に生出演し、九州の観光PRを行いました。その後、新聞社4社を訪問及び街頭での観光展の告知を行いました。

2月3日（土）～4日（日）の観光展では、「ひろしま満点ママ！！」で放映された九州各県の観光地を紹介するミニコーナー（1月29日～2月1日）や前日の生放送の影響もあり多くの方に来場いただきました。観光展では各県の観光ブースの設置やステージイベント（各県の観光大使によるフラワープレゼント、お雛さまに扮しての記念撮影、ゆるキャラの登場（くまモン4日のみ））等により、イベントを盛り上げました。また今年新たなサービスとして九州のお茶が楽しめる「おもてなしコーナー」も設置し、来場者に好評でした。



○タイ旅行博出展事業（TITF）

（2/7-11：タイ）

7月に実施したFAMで招請した旅行会社と連携し、タイ国際旅行博（TITF）に出展し、お客様向けの情報発信と九州旅行商品の販促に取り組みました。主催者発表によると、来場者は期間中約50万名で、九州からは福岡県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県が出展しました。

当機構のブースへの来訪者も多く、パンフレット、ギブアウェイ等が非常に好調でした。九州ブースを訪れたお客様は、訪日回数10回以上の訪日リピーターが多く、ブースでは主に2次交通に関する質問を受け、中には時間をかけて詳しい質問をするお客様も1日2~3名程度見受けられました。タイ市場において、九州の認知度が徐々に上がってきていることが伺えました。



○タイ国政府観光庁における観光促進に関する趣意書を締結

（2/8：福岡）

2018年2月8日、タイの観光庁（ユッタサック・スパソーン総裁）と九州観光推進機構（石原進会長）の観光振興分野での業務協力に向けた調印式を行い両者の間において趣意書の取り交わしを行いました。調印式でユッタサック総裁は「趣意書を踏まえ、観光庁は九州の皆さんと協力態勢をとって仕事をしたい」との御意向を、また2016年1月に閉鎖した観光庁の福岡事務所を今年中にも再開させる考えを示されました。当機構、石原会長からは「趣意書の締結を契機に九州とタイの観光交流がいつそう盛んになるよう進めたい」との意向を伝えており、今後、相互間で観光誘客の促進に向けた取組を検討していくこととなりました。

◆プレスリリース：<https://www.welcomekyushu.jp/kaiin/news/detail/680>



○第2回九州観光振興大会の開催

九州観光振興議員連盟と九州観光推進機構の共催による「九州観光振興大会」を鹿児島県指宿市において実施いたしました。この大会は、九州全体の広域的な観光振興の推進に寄与することを目的として実施しており、今回が2回目となります。当日は当機構関係者58人を含む約250人が参加されました。

初めに加賀至局長から九州運輸局の取組みをご紹介いただいたのち、渡邊太志事業本部長より当機構の取組みを紹介しました。その後、PGH エンタープライズ株式会社代表取締役社長の窪山哲雄氏より魅力的な観光地の作り方について、グーグル合同会社観光立国推進部長の陳内裕樹氏・アカウントストラテジストの肥後綾香氏より地方創生とデジタルマーケティングについて講演をいただきました。

九州の観光推進のため、今後も議員の皆様と協力していくよう確認し、大盛況で大会を終えました。



○銀聯と連携したKOLを活用した個人旅行者(FIT)誘客促進事業 (2/10-17：九州7県)

中国の銀行カード連合組織として設立された「銀聯国際」(カード発行枚数約50億枚¹、中国国外での発行枚数約3,000万枚²、2014年時点)と連携し、中国で発信力のある中国人KOL(Key Opinion Leader)の2名を招請し、九州各県の観光情報の取材を行いました。KOLが作成した記事は、自身のSNSや旅行デジタルメディアへの投稿だけでなく、さらに、銀聯カード保有者が閲覧できる銀聯国際の特設Webサイトにも掲載することで、九州を旅行先の一つとして認知度向上を図り、富裕層の誘客促進に繋がっていきます。



1 うち、デビットカード約45億枚、クレジットカード約5億枚

2 香港・マカオ：約2,000万枚、韓国：約1,000万枚

○九州のひなまつり協議会視察研修

(2/13-14：大分)

杵築市で行われた九州のひなまつり広域振興協議会の視察研修に参加しました。会議では、九州のひなまつり協議会事務局から九州旅ネット内の「ひなの国九州」サイトの改修、ガイドブックの制作、九州・沖縄春の大観光展覧会（広島）の出展などについての報告がありました。続いて、協議会メンバーの各地からは、今年度の雛祭りの開催状況について説明がありました。会議後は、2日間に渡り杵築の観光名所、養徳寺、佐野家、とまや（煎茶体験）、磯矢邸、大原邸等を視察しました。各視察場所にはひな人形が飾られており、街全体でひなまつりの告知PRに力を入れられている事を実感しました。“きものを着て杵築の町を歩こう”（着物体験）のパンフレットは、英語、韓国語、中国語、タイ語を制作しており訪日外国人旅行者の受け入れに積極的に取り組んでいました。（2017年度実績13,000人のうちインバウンド50%）

「ひなの国九州」では、九州各地で開催されているひなまつりの情報を発信していますので、ぜひご覧ください。 ◆ひなの国九州：<https://www.welcomekyushu.jp/attaka/hina/>



○九州アジア観光アイランド特区ガイドスキルアップ&マッチングセミナーの開催

(2/24：福岡)

九州アジア観光アイランド特区ガイドの合格者を対象とした九州アジア観光アイランド特区ガイドスキルアップ&マッチングセミナーを開催いたしました。このセミナーは、特区ガイドのスキルアップと就業機会創出のために特区ガイドと旅行会社や人材派遣会社を対象として開催しており、今回が第3回目となります。

午前中に実施したスキルアップセミナーでは、57名の特区ガイドが参加し、空飛ぶドクターとして医師添乗サービスを行っている坂本泰樹氏より旅行中の緊急時の対応方法など、温泉ソムリエ師範である六三四氏により温泉の楽しみ方などをご講演いただきました。午後には実施したマッチングセミナーには46名の特区ガイド、10社の旅行会社・人材派遣会社が参加しました。また、今回はキャリアコンサルティングのブースを設け、新たなガイドとして活動する契機として活用いただきました。

当機構では、今後も特区ガイドの質の向上や活躍の機会を創出していくため、スキルアップに関する研修や就業に関する情報提供などに取り組んでいきます。



○ほっと@九州フェアの開催

(2/24-25：名古屋)

JR 東海、JR 西日本、JR 九州との共催で、名古屋市久屋大通公園（久屋広場）で、観光イベント「ほっと@九州フェア 2018」を開催しました。九州各県による観光 PR ブースを設けたほか、熊本地震からの復興支援として、熊本城復興城主の出張受け付けや、阿蘇や熊本城の今を伝えるパネル展示、グルメや物産販売を行い、九州の元気を発信しました。NHK 大河ドラマ『西郷どん』パネル展も同時開催され、2 日間で約 6 万 6 千名の方にご来場いただきました。次年度も、中京地区からの誘客に向けて関係者と連携を図ってまいります。



◆九州観光推進機構からのお知らせ

○九州観光推進機構サイトの会員向け情報ページに「観光統計情報」を掲載（3/12）

「九州の外国人入国者数の推移について～2017年1月（速報値）、2017年12月（確定値）」を掲示しました。ぜひご活用ください。なお、会員向け情報ページを閲覧するには、ID とパスワードが必要になります。ご不明な点は下記お問い合わせ先までお願いします。

○「九州旅ネット」メールマガジン 新規登録キャンペーン実施中（～3/18）

当機構の観光情報サイト『九州旅ネット』において、九州のファンを増やすため、「春の九州へ行こう！メールマガジン新規登録キャンペーン」を実施しています。期間中にメールマガジンに新規登録された方の中から、抽選で 4 組の方に九州の大人気の宿のペア宿泊券をプレゼントする企画もあります。周りの方でまだメールマガジンに登録されていない方がいましたら、ぜひこの機会に登録をお願いいたします！

◆プレスリリース：<https://www.welcomekyushu.jp/kaiin/news/detail/685>

○旅ネット内「九州の世界遺産」サイトに、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を追加しました！

九州内の世界遺産を紹介するサイト「九州の世界遺産」に、2018年7月に世界自然遺産登録される予定の「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を追加しました！同じく、2018年7月に世界文化遺産登録予定の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」についても、世界遺産としての価値についてや、アクセス、モデルコースなどを掲載していますので、ぜひご覧ください。



◆九州の世界遺産：https://www.welcomekyushu.jp/world_heritage/

○ 3月以降の主な事業

- ・第2回九州教育旅行ふっこうセミナー（2018年3月1~3日）
- ・インドネシア旅行博（Japan Travel Fair）出展事業（2018年3月9~11日）
- ・「九州オルレ」マスコミ・旅行社等招請事業（2018年3月9~12日）
- ・マレーシア旅行博（MATTA）出展事業（2018年3月16~18日）
- ・第3回運営協議会（2018年3月16日）
- ・第4回理事会（2018年3月26日）
- ・クルーズを活用した九州の滞在型旅行を拡大するための情報発信事業（2月~3月）

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 企画部 野間、川口

TEL:092-751-2943（代表）

092-751-2946（国内誘致推進部がイヤリン）

092-751-2947（海外誘致推進部がイヤリン）

092-751-2951（九州観光広報センターがイヤリン）

FAX:092-751-2944

E-mail：infokyushu@welcomekyushu.jp

～編集後記 第14回～

3月9日、10日に九州オルレの新コース「さいき・大入島コース」「筑豊・香春コース」がオープンします。早速、9日オープンの「さいき・大入島コース」に行ってきました！地元のあたたかい歓迎と素晴らしい景色の中で、楽しく歩くことができました。おニューのトレッキングシューズを用意したので、少しずつ踏破していきます！

さて、1月下旬から3月下旬まで、春の九州オルレを開催しています。今からでも参加できるフェアもありますので、新年度を前にオルレでリフレッシュされてはいかがでしょうか？（野）

★★★まだ間に合う！！春のオルレフェア★★★

3月24日（土） 九重・やまなみコース 、 3月25日（日） 奥豊後コース